

「再生可能エネルギー・省エネルギー計画」 の見直しについて

令和3年度第2回 宮城県再生可能エネルギー等・
省エネルギー促進審議会資料

本日御議論いただきたい主なポイント

1. 再エネ・省エネの目標指標について

- 再生可能エネルギー・省エネルギーに関する目標指標について、県民等にも分かりやすく、国や他県とも比較しやすいものとするため、新たな計画にどのような指標を設定すべきか。

2. 再エネ・省エネの基本的方向(施策の大綱)及び目標達成に向けた施策と重点対策について

- 脱炭素社会の実現に向けて、今後、再生可能エネルギー・省エネルギーをどのような方向性で推進していくべきか。
現行計画の課題や国の方針などを踏まえ、今後、どのような施策を進めていくべきか。その中でも特に重点的に取り組むべきものは何か。

(参考)新たな計画の構成(案)

見直しの考え方

2030年度における温室効果ガス大幅削減を目指し、再エネ・省エネに関する目標値を引き上げるとともに、これまで取り組んできた施策の加速化、新たに取り組むべき対策等を示す計画とする。

また、関連計画と整理・統合し新たな計画を策定し、県民に分かりやすく、より実効性の高い計画とする。

計
画
現
行
の

- ✓ **再生可能エネルギー・省エネルギー計画** 整理・統合
- ✓ 宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
- ✓ 宮城県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
- ✓ 宮城県気候変動適応計画

(仮称)みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略

構成(案)

1 現状・課題

1-1 地球温暖化対策を巡る動向

- 気候変動の影響
- 地球温暖化対策を巡る国際的な動向
- 地球温暖化対策を巡る国内の動向（国や他の地方公共団体の政策動向等）

1-2 区域の特徴

- 人口動態、産業構造、都市構造、自然環境等

1-3 温室効果ガス等の現況推計

1-4 温室効果ガス等の将来推計

1-5 課題

【資料1-2】

2 地球温暖化対策の推進に関する基本的方向 (施策の大綱)

2-1 地球温暖化対策の目指す方向

2-2 地球温暖化対策の基本的考え方

3 目標

3-1 温室効果ガス削減目標

- 2050年度までに、「温室効果ガス排出実質ゼロ」の実現
- 2030年度までに、温室効果ガスを2013年度から46%削減

3-2 上記以外の目標

【資料1-1】

4 目標達成のための施策

4-1 再生可能エネルギーの利用促進

4-2 事業者・住民の削減活動促進

4-3 地域環境の整備

4-4 循環型社会の形成

4-5 事務事業における排出削減

4-6 気候変動適応策の推進

4-7 重点対策

【資料1-3】
【資料1-4】

5 地域脱炭素化促進事業の促進区域の設定に関する基準

6 推進体制等